

2016 年度 中央大学国文学会講演会

近代小説の「言」と「文」 ——太宰治と志賀直哉——

講師：安藤 宏 先生(東京大学大学院教授)

日時：11月24日(木) 16:40～17:50

場所：中央大学多摩キャンパス 3号館 3階 3351 教室

—講演要旨—

志賀直哉の文体と太宰治の文体。両者は近代の言文一致体小説の双璧をなしている。
二人の違いはどこにあるのかを考えてみることによって、近代小説における「言（話し言葉）」と「文（書き言葉）」との関係を歴史的に振り返る。

—講師略歴—

1958年、東京生まれ。1982年、東京大学文学部を卒業。1987年、同大学院博士課程を中途退学。
同文学部助手、上智大学文学部講師、助教授を経て、現在東京大学大学院人文社会系研究科教授。
博士(文学) 東京大学

[主要著書]

『「私」をつくる——近代小説の試み』(岩波書店、2015)

『近代小説の表現機構』(岩波書店、2012)

『太宰治 弱さを演じるということ』(筑摩書房、2002)

『自意識の昭和文学—現象としての「私」—』(至文堂、1994)

*参加費、事前申込は不要。直接会場にお越し下さい。

*講演会後、安藤先生をお招きして、教職員食堂にて懇親会を行います。ご参加下さい。

皆様お誘い合わせの上、ご来場ください。

主催 中央大学国文学会

問い合わせ先

国文学研究室 (042-674-3789)